

アトムの広場

SHIMANE ATOMIC INFORMATION

しまね原子力広報 2014.6

No.
102



平成26年度

原子力講演会開催について

島根県原子力発電所周辺環境調査結果
平成26年1月から3月まで
異常は認められませんでした。

表紙イラスト：島根再発見「松江にやってきたお姫様の土産物・松江大橋の擬宝珠」
※8ページのしまね再発見のコーナーで紹介しています。

島根県

放射線・放射能と防災の基礎

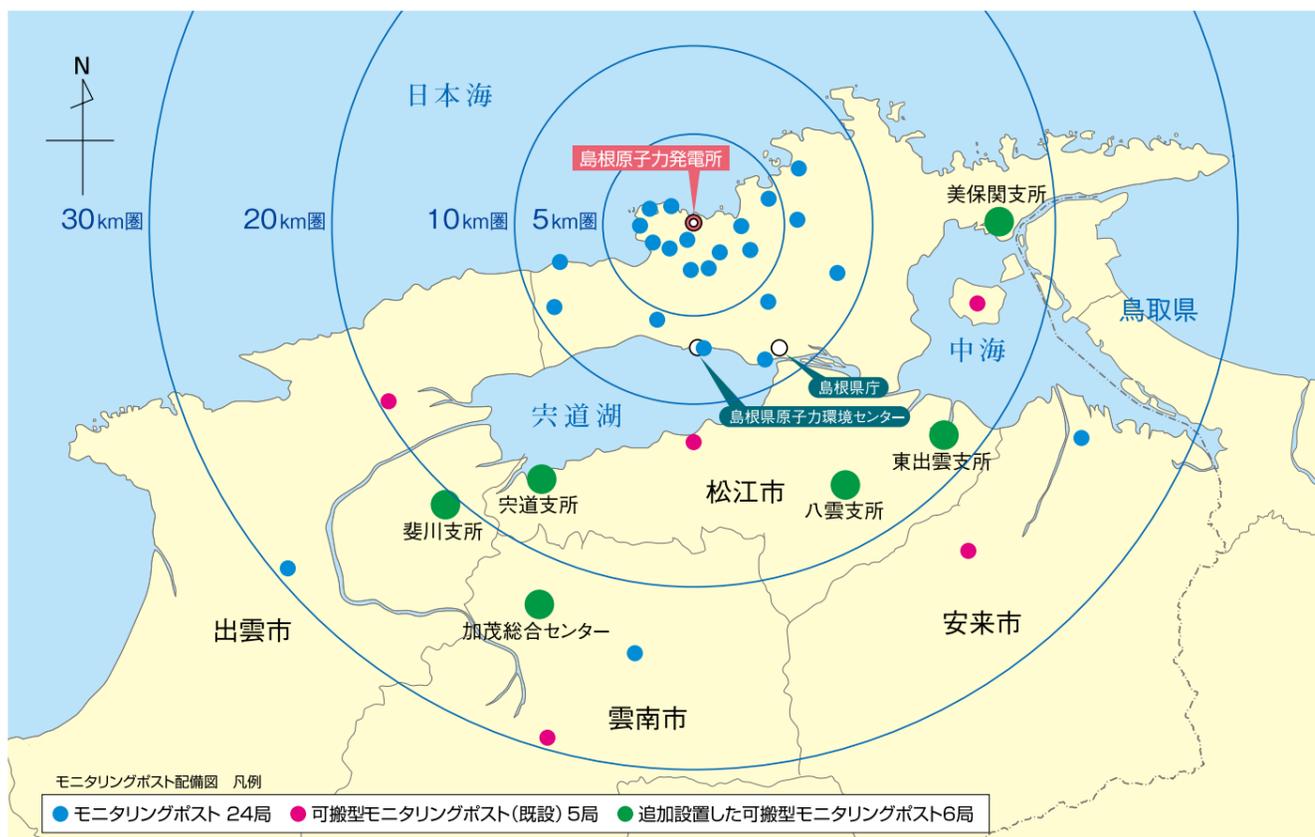
においや視覚など五感で感じることができない放射線や放射能は、大変わかりにくいものです。

このコーナーでは、それらに関する基礎知識と、万が一原子力災害が起こった時の対応などを紹介していきます。

環境放射線の測定

島根県では、島根原子力発電所周辺地域住民の皆さまの健康と安全を守るため、原子力発電所から半径30km圏内に放射線測定器(モニタリングポスト)を設置しています。モニタリングポストでは、環境放射線を24時間連続して測定しており、その結果は県のホームページ(<http://www.houshasen-pref-shimane.jp/page/radiation/radiationMap.html>)にて公開しています。

環境放射線の測定体制の充実・強化を図るため、今年度から新たに6局の可搬型モニタリングポストを追加設置し、現在、合計35局のモニタリングポストによって測定を行っています。(固定局および可搬型モニタリングポストの写真は4ページにあります。)



なお、追加設置した6局の可搬型モニタリングポストによる環境放射線の測定結果については、次号から掲載します。

公民館等へのモニタリングポストと簡易放射線測定器の配備

島根県では県民の皆様に普段から放射線を身近に感じてもらうため、発電所から半径30km圏内の公民館や地域交流センター、コミュニティーセンターなど地域活動の拠点となる公的な施設に表示装置付可搬型モニタリングポストを14台、簡易放射線測定器を125台配備しました。



表示装置付可搬型モニタリングポスト



簡易放射線測定器

島根県では、地域住民の皆様の安全確保及び環境の保全を図るため、環境放射線等の調査を行っています。

今期の調査結果を検討・評価したところ、**異常は認められませんでした。**

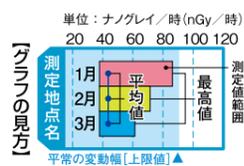
雨や雪が降ると、なぜ空間放射線量が増える？

大気中に漂っている天然放射性物質が雨などと一緒に地上に降ってくるからです。ただし、時間とともに消えていき、しばらくすると元の値に戻ります。

空間放射線線量率 (固定局)

「平常の変動幅」を超える線量率が測定されましたが、いずれも降水等による線量率の増加によるもので、**環境への影響は認められませんでした。**

○平常の変動幅：平成20年4月～同25年3月までの全データを統計処理した範囲
 ※平成24年度に新設した測定地点の平常の変動幅は未設定です。
 *欠測：局舎の更新工事のため欠測



空間放射線の測定

空間放射線線量率測定 (常時)



2分毎の観測データを送信

24時間連続監視

島根県原子力環境センター
 情報は、原子力安全対策課ホームページでリアルタイムに県民の皆さんへ公開しています。

空間放射線積算線量測定 (年4回)



島根原子力発電所

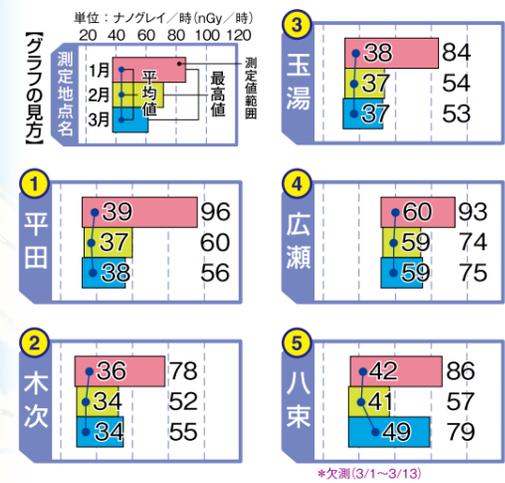


島根県原子力環境センター
 データ専用回線で伝送し、原子力環境センターで集中監視をしています。

【モニタリングポスト配備図(イメージ図) 凡例】
 ● 固定局 線量率のみの測定地点
 ○ 固定局 線量率・積算線量の測定地点
 □ 積算線量のみの測定地点
 ● 可搬型(常設)

空間放射線線量率 (可搬型)

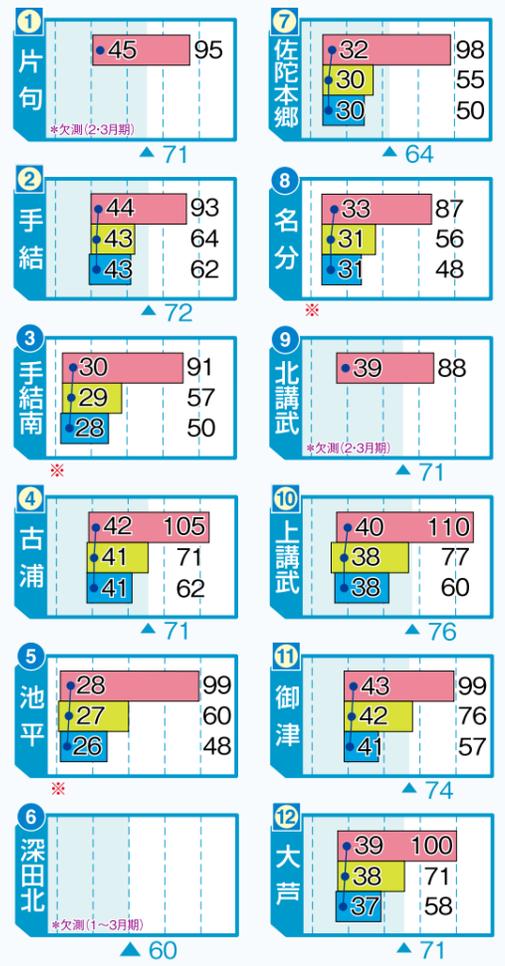
持ち運びのできる可搬型モニタリングポストを5地点に設置し、空間放射線線量率を測定しています。



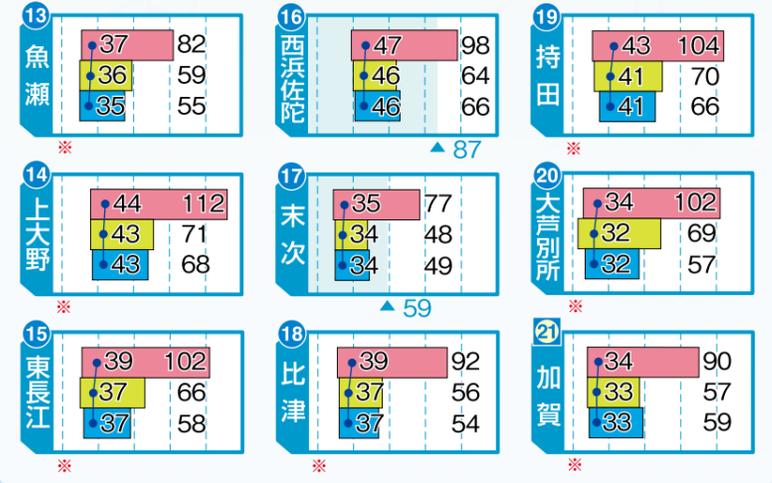
0～5 km 圏拡大図



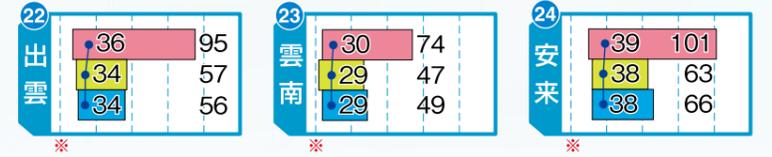
0～5 km 圏内



5～10 km 圏内



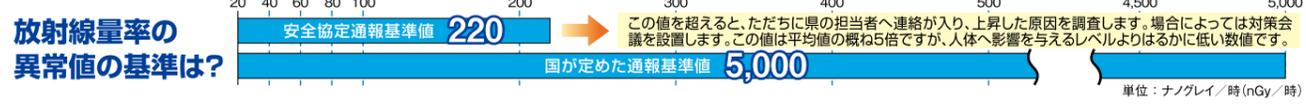
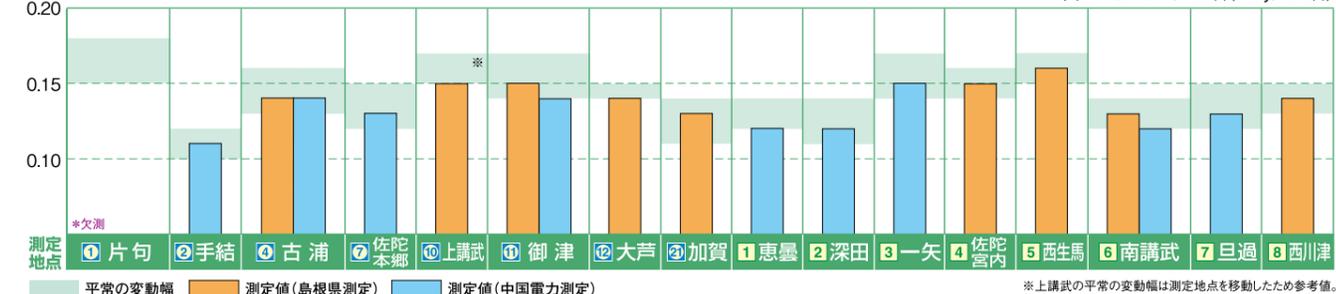
10～30 km 圏内



空間放射線積算線量

すべての地点で、平常の変動幅におさまる線量で、いずれも**環境への影響は認められませんでした。**

○平常の変動幅：前年度までの5年間の最小値から最大値までの範囲



環境試料中の放射能

—農畜産物、海産生物、土壌、水、塵などに含まれる放射能の種類と量を測定しています—

●ガンマ線スペクトロメトリーによる分析結果(平成26年1月～3月採取分)

試料区分	測定結果	平常の変動幅(¹³⁷ Cs)
浮遊塵	ND	ND
原乳	ND	ND(¹³¹ I)
なまこ	ND	ND
さざえ	0.03	ND～0.06
岩のり	ND	ND
あらめ	ND	ND～0.09

※ND:検出下限値未満
 ※「平常の変動幅」は平成22年度までの過去10年間の最小値から最大値までの範囲です。
 ※¹³⁷Cs:セシウム137、¹³¹I:ヨウ素131
 ※ガンマ線スペクトロメトリー対象核種～原乳:¹³¹I、その他の試料:⁵⁴Mn、⁵⁹Fe、⁵⁸Co、⁶⁰Co、¹³⁷Cs(一部試料については¹³¹I)
 ※単位:浮遊塵 マイクロベクレル/m³、原乳 ミリベクレル/l、農産物・海産生物 ベクレル/kg(生)

一部の試料から福島第一原発事故や過去の大気圏内核実験によると思われる微量の放射性物質を検出しましたが、島根原子力発電所の影響は認められませんでした。

●ストロンチウム90測定結果(平成25年12月採取分)

試料区分	測定結果	平常の変動幅(⁹⁰ Sr)
ほうれんそう	0.07	0.07～0.19

※「平常の変動幅」は前年度までの過去10年間の最小値から最大値までの範囲です。
 ※⁹⁰Sr:ストロンチウム90 ※単位:ベクレル/kg(生)
 ※ストロンチウム90の分析・評価には時間を要するため、1期ずらして報告することがあります。

●参考 食品中の放射性セシウムの基準値*(平成24年4月より適用)

食品群	基準値	食品群	基準値
一般食品	100	乳児用食品	50
牛乳	50	飲料水	10

※単位:ベクレル/kg
 ※食品衛生法の規定により、食品に含有されるものであってはならないとされる値

温排水調査結果 —島根原子力発電所から放出される、温排水の環境への影響を調査しています—

今期の調査結果を検討・評価したところ、異常は認められませんでした。

現在、1・2号機が定期検査中、3号機が建設中ですが、発電所周辺の海域における水温分布等の調査は引き続き実施しています。

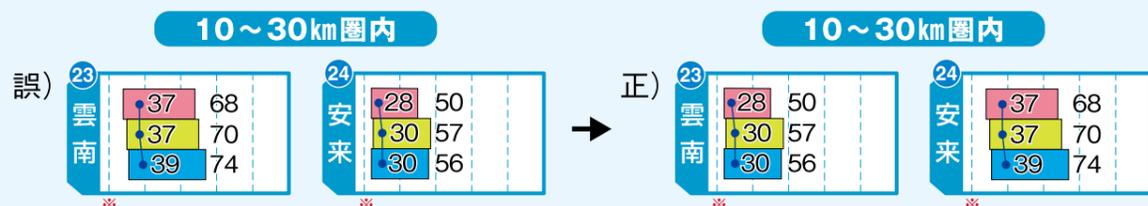
※詳細な調査結果は冊子「島根原子力発電所周辺環境放射線等調査結果(平成25年度・第4四半期)」にとりまとめ、県立図書館等に配布するほか、ホームページでも公開します。

〈お詫びと訂正〉

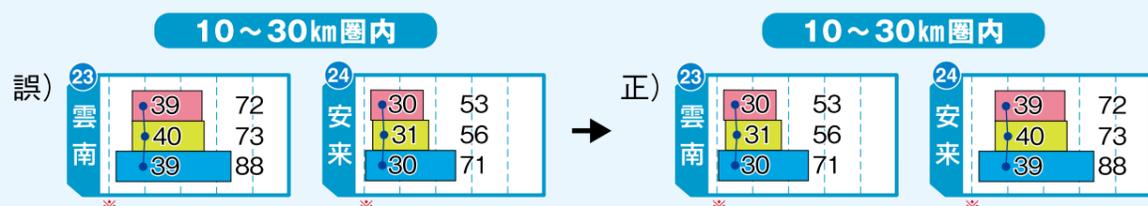
2014年1月発行の「アトムの広場No.100」および2014年3月発行の「アトムの広場No.101」の掲載記事「島根原子力発電所周辺環境放射線等調査結果(5ページ)」の一部に誤りがございました。深くお詫び致します。

【訂正箇所】

●アトムの広場No.100



●アトムの広場No.101



島根県地域防災計画(原子力災害対策編)を修正しました

島根県では「地域防災計画(原子力災害対策編)」を作成し、原子力災害等の発生及び拡大を防止し、復旧を図るために必要な対策について防災関係機関がとるべき措置を定めています。

福島第一原発事故以降、国においては、さまざまな原子力防災対策が見直されており、昨年度も新たな知見を取り入れた防災基本計画の修正が行われました。それを受け、県においても平成26年3月に地域防災計画(原子力災害対策編)の修正を行いました。

主な修正点

- 原子力災害対策重点区域(発電所から概ね30km 圏内)における防護措置の実施
PAZ及びUPZそれぞれにおける避難準備、屋内退避、避難等の対応を規定
- 原子力発電所の状態に基づく判断基準(EAL)の設定
原子力災害発生時における発電所の状況に応じた区分(警戒事態、施設敷地緊急事態、全面緊急事態)を設定し、それぞれの区分に応じた住民への対応、モニタリング等の実施すべき措置を規定
- 放射線の測定結果等に基づく防護措置実施基準(OIL)の設定
原子力発電所施設外の放射線の測定結果等に応じた避難、一時移転等の措置の実施基準を規定
- 緊急時モニタリング体制の見直し(国の統括する組織の設置)
緊急時モニタリングを実施するために国の統括のもと、県、市、中国電力(株)が連携して設置する組織(緊急時モニタリングセンター)について規定
- 安定ヨウ素剤の予防服用体制の整備(事前配布等の措置を明記)
住民等に対する安定ヨウ素剤の事前配布及び緊急時における配布体制の整備について規定

地域防災計画(原子力災害対策編)は県のホームページで確認できます。

福島県視察

東日本大震災に係る福島県内での災害対応や復興状況等について現地を確認し、今後の島根県における防災対策の充実に役立てるため、福島県内を視察しました。

日程:平成26年4月9日(水)～11日(金)

視察先:福島県庁、南相馬市役所、富岡町郡山事務所、南相馬市立総合病院、

福島県社会福祉協議会、福島第一原発

訪問者:知事 他5名



除染現場



佐藤福島県知事との意見交換



福島第一原発免震重要棟内部

島根県では、原子力発電についての正しい知識と、県が実施している環境放射線モニタリング等の安全対策や防災対策などについて皆さんに知っていただくため、県民の方を対象とした原子力関連施設見学会を開催します。

開催日時

平成26年 **8月2日(土)** 9:15~15:45

応募先

島根県 原子力安全対策課 見学会係

ページ下の連絡先までご応募下さい。

●**応募締切** 平成26年7月16日(水)必着

●**募集人数** 50名

【注意事項】

◎ハガキに参加を希望されるすべての方の住所、氏名(ふりがな)、電話番号、生年月日をご記入の上、ご応募下さい。ハガキ1枚で複数の方の応募をされてもかまいません。

なお、電話やFAX、メールでも申し込みができます。

※電話の受付は、平日の9時~17時です。また、応募内容の個人情報、見学会の目的以外に使用することはありません。

◎**参加費は無料**です。(受付場所までの交通費は参加者負担とさせていただきます。)

また、県庁にお越しの際は、公共交通機関をご利用下さい。

◎**昼食は県で用意**し、移動は貸切バスで行います。

◎**小学生以下の方**は保護者同伴をお願いします。

見学先

●**受付:島根県原子力防災センター**

島根県庁西方向 徒歩3分、島根県職員会館北側

9:00~ 9:15

●**島根県原子力防災センター(松江市中中原町)**

■島根県の原子力安全・防災対策について説明

■施設見学



●**島根県原子力環境センター(松江市西浜佐陀町)**

■原子力環境センター紹介

■放射線測定体験

■施設見学



●**島根原子力発電所(松江市鹿島町片匂)**

■概要説明

■運転訓練シミュレータ

■原子力発電所構内見学(バス車内から)

発電所建物内部には入れません。

*各施設における説明内容等は変更になる場合があります。



しまね再発見

松江に嫁いだお姫様のお土産
「松江大橋の擬宝珠」



松江大橋の欄干を飾る擬宝珠。これが最初に付けられたのは、享保9年(1724)。松江藩五代目藩主の松平宣維(のぶずみ)公が、京都の伏見宮家の娘・岩姫を正室として迎えることになり、その輿入れの際に京から持参されたものを第6代大橋に取り付けたことに由来するといわれています。

松江・京店は、この岩姫を迎えた際に、城下に京の家並みを模した界隈を造ったことから、その名前が付けられたとされています。また、毎年秋に行われる鑿行列は、岩姫様の輿入れを祝って大きな鑿をつくり、打ち鳴らしたのが始まりと伝えられています。

放射線に関する講演会を実施します

参加費
無料

松江会場

定員150名

●日時 平成26年

8月23日(土)

9:30~11:10

●場所

島根県民会館

出雲会場

定員150名

●日時 平成26年

8月24日(日)

13:30~15:10

●場所

出雲市民会館

浜田会場

定員150名

●日時 平成26年

8月30日(土)

13:30~15:10

●場所

島根県立大学
浜田キャンパス

各会場とも、ご自由にご参加ください。詳しくは、県ホームページでもお知らせしています。なお、駐車場には限りがありますので、ご来場にはできるだけ公共交通機関をご利用ください。

アトムの広場 No.102
SHIMANE ATOMIC INFORMATION
しまね原子力広報 2014.6

「アトムの広場」に関するご意見・ご感想等がありましたら、島根県原子力安全対策課までお寄せ下さい。

編集・発行

島根県 防災部 原子力安全対策課

〒690-8501 島根県松江市殿町1番地

TEL (0852) 22-6059(見学会係)

FAX(0852)22-5930

URL <http://www.pref.shimane.lg.jp/genan/>

E-mail gen-an@pref.shimane.lg.jp

2014年6月発行

※平成26年度広報・調査等交付金事業により作成しました。



この印刷物は環境に優しいベジタブルインキを使用しています。